

平成 28 年度

# 京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会

期 日：平成 28 年 10 月 16 日 (日)

会 場：京 都 テ ル サ

社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会

# 平成 28 年度京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会

～ 地域と共生 守ろう、こどもの未来 ～

母子に関するテーマ「目指そう！自立、活かそう！支援策」  
母子・寡婦共通テーマ「母子と寡婦 明日へつなぐ世代の輪」

## 1 趣 旨

戦後の混乱を経て 70 年余の年月を経過しましたが、急速な少子・高齢化の進行の中で、子どもの貧困の解消や育成、支援が社会全体の大きな課題となっています。

また、景気は緩やかに回復しているといわれるものの、経済状況は不安定で、経済的基盤の弱い私たち母子家庭や寡婦にとってその実感は乏しいばかりか、不安定な非正規雇用と低収入は改善されず、生活環境は、ますます厳しさを増しており、厳しい児童養育環境のもとでの、不登校、いじめ、児童虐待、DV などが大きな社会問題となっており、加えて寡婦は高齢化が進み健康不安や介護の問題などが課題となっています。

このような時こそ、私達は、仲間とともに自立支援の施策を活用して正規雇用を目指すとともに、日常生活支援事業や子どもの居場所づくり事業などにより、子ども達の健全やかな成長を願うとともに、母子・寡婦の生活の安定と福祉の向上を実現すべく努めなければなりません。

今後、行政や関係機関等と一層の緊密な連携のもとに、地域に根差した活動の和を育み、きめ細かな支援を実施し、自立への道を歩む努力を続けなければなりません。

私たち一人ひとりが持てる力を充分に発揮することを誓うとともに、今後の母子寡婦福祉の推進と充実を目指した取り組みに繋がることを願い、この大会を開催します。

2 期 日 平成 28 年 10 月 16 日（日） 13：00～16：00

3 会 場 京都テルサ  
京都市南区東九条下殿田町 70 京都府民総合交流プラザ内  
TEL. (075) 692 - 3400

4 参 加 者 京都府母子寡婦福祉連合会会員 その他（約 500 名）

5 日 程 受 付 11：00～  
開 会 13：00  
閉 会 16：00

## 【大会の部】

- 主 催 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会
- 後 援 京都府  
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会  
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団
- 次 第
- 開 会  
黙 祷  
斉 唱 『母に幸あれ』
- 主催者挨拶 (福) 京都府母子寡婦福祉連合会会長 東 美佐子  
来賓祝辞 京都府知事 山 田 啓 二 氏  
( 予 定 ) 京都府議会議長 植 田 喜 裕 氏  
(財) 全国母子寡婦福祉団体協議会理事長 海 野 恵美子 氏
- 来賓紹介  
祝電披露  
体験の発表 子ども代表 田畑 彩 (京丹後市母子寡婦福祉会)  
母親代表 林 亜也子 (亀岡市母子寡婦福祉会)  
寡婦代表 太田 文子 (宇治市連合母子会)
- 大会決議  
大会申合せ

## 【全体研修会の部】

- 講 演 演 題 「生きるを伝える～宿命を使命にかえて～」  
講 師：シンガーソングライター 松田 陽子 氏

## 【アトラクション】

- 大衆芸能 演 題 「チンドン屋さんがやってきた。」  
演奏者 チンドン「ピアピア」

斉 唱 『生き抜く白百合』  
閉会の言葉  
『今日の日はさようなら』

## 【閉 会】

# 大会決議(案)

私たちは、平成28年度京都府母子寡婦福祉大会において、依然として厳しい生活環境にある母子家庭と寡婦の生活の安定と福祉の向上を図るため、次の事項を決議し、その実現に向けて関係機関に強く要望します。

1. 「母子家庭の母及び父子家庭の父の就業に関する特別措置法」に基づき、母子家庭の自立のため自治体や地元企業で正規雇用の拡大を図るなど支援体制の積極的な取り組みを要望します。
1. ひとり親家庭の親が安心して子育てと就業の両立ができるよう、安定した住居の確保、保育所の優先入所や、病児・病後児保育等の施策の充実、放課後児童クラブの優先的利用など子育て支援体制の充実を要望します。
1. ひとり親家庭の子育てを取り巻く環境や教育環境の改善は喫緊の課題であり、「子どもの居場所づくり」「公的学習支援」のほか、子どもの貧困対策として総合的支援を強化し、地域ぐるみで取り組める仕組みを構築されることを要望します。
1. 子どもの心と身体を守るために、児童虐待の未然防止のためのさらなる施策の充実を要望します。
1. 養育費を必ず取得できるよう、養育費の支払い履行確保に向けて、法的整備を要望します。
1. 「ひとり親家庭及び寡婦の医療費助成制度」については、各自治体により、助成する内容や自己負担額に格差が生じています。非正規雇用、低収入、長時間労働などで、経済的、時間的に余裕のないひとり親家庭の世帯が、居住地に関わらず格差なく適切で良質な医療をいつでも受けることができるよう、国による新たな助成制度の創設を要望します。
1. 児童扶養手当制度については、所得制限の収入認定額を緩和されるとともに、同居親族の所得要件の廃止など、生活実態に合わせて見直しされることを要望します。
1. 所得税、地方税において、扶養親族のいない生別寡婦や未婚の母にも寡婦控除と同様の控除を適用されるよう要望します。
1. 子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう、進学を経済的に支援するための大学の授業料減免や無償化、給付型奨学金制度等、高等教育助成制度を新設され、公的教育費支出を先進国並みに拡充されることを要望します。

平成28年10月16日

京都府母子寡婦福祉大会参加者一同

# 大会申合せ（案）

私たちは、母子家庭及び寡婦の幸せを求めするため、次の事項を申合せ、その実行を期します。

1. 母子寡婦福祉の向上を目指し、関係機関や地域社会の一層の理解と協力を得ながら、団体として強く連携し結束を深めながら、決議事項の実現に向けて努力しましょう。
1. 母子寡婦福祉団体の社会的な意義と役割について認識を深め、会員の加入促進に努め、母子部活動の活性化を図るとともに、母子と寡婦が世代を超えて輪を広げ、次世代のリーダーの育成に努めましょう。
1. 未来を担う子ども達が健やかに成長することができる社会環境の充実に切に要望し、児童の健全育成に努めましょう。
1. 家族のふれあいを深め、明るい家庭づくりに努めましょう。
1. 母子・寡婦福祉施策を積極的に活用し、健全な生活設計を図りましょう。
1. 自立意欲を高め、地域活動にも積極的に参加し、地域社会に貢献する団体として、地域社会との共生に努めましょう。
1. 時代に即応した事業展開を図るため一人一人の持てる力を十分に発揮し、会員相互の連携と協調に努めましょう。

平成 28 年 10 月 16 日

京都府母子寡婦福祉大会参加者一同

# 全 体 研 修 会

## 講 演 「生きるを伝える～宿命を使命にかえて～」

自らの病魔との闘いや、失敗しても自分の可能性を信じて目標を失わずに人生を歩んできた体験を通じ、生きるということの素晴らしさ、尊さを伝える。

## 講 師 シンガーソングライター

松 田 陽 子 氏

## 講師プロフィール

略 歴 大阪府出身。関西外国語大学卒業。  
フリーのシンガーソングライターとして活動。  
子宮頸がん手術。家族の崩壊、重度のうつ病克服。  
国連 UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) 協会広報委員。  
一般社団法人 stand for mothers 理事。NPO 法人 self 代表理事。京都光華女子大学客員教授等。

活 動 等 国連 UNHCR 協会 広報委員として、世界の難民支援や児童虐待防止、また子宮頸がん検診啓発など、さまざまな活動を展開。

2007年より、NPO 法人『self』の代表を務め、『この世に無駄な生命は一つもなく、それぞれが必ず使命を持って生きていけるはず。』と、世界平和・人道支援を通して、人とのつながりを大切に活躍。

ニューヨーク・ブロードウェイにある、マリオットホテルにてシンガーとしてレギュラー出演していた経歴や、30カ国以上の海外での生活、人生でのさまざまな出来事によって独特の感性を持つ。

## アトラクション「チンドン屋さんがやってきた。」

### チンドン「ピアピア」



#### ～プロフィール～

7年前（平成21年）から チンドン「ピアピア」を立ち上げる。  
60年以上の歴史を持つ富山のチンドンコンクールにて素人チンドンコンクールで敢闘賞を受賞。

京都を中心として、介護施設、地域の祭り、イベントなどにて活動。  
今年は東北大震災の被災地である大船渡で行われる「復興 大船渡チンドンまつり」に参加し、プロ、アマチュア一緒になって舞台を盛り上げた。復興への一助になれるように来年も参加したいと思っている。

現在3人で活動しており、チンドンの力で地域の活性化に役立てることを願って活動。

#### ～演奏～

南京玉すだれ  
飴玉配り

#### ～演奏楽器～

チンドン太鼓、ゴロス太鼓、キーボード

# 母に幸あれ

秩父宮妃殿下 御歌  
服部 正 作曲

あらき世の

風に堪へつつ

手ひとつに

子をそだてゆく

母に幸あれ

# 生き抜く白百合

石黒幸一 作詞  
森 一也 作曲

けわしき山路の 白百合は

雨にも 風にも 耐えて咲く

気高く清らかな 花のごと

浮世の波に 生き抜かん

黒雲空を おほうとも

いつかは 洩れる 陽の光

冷たき冬来れば 春近し

青い小鳥よ 窓に啼け